

Minami Kyushu University Syllabus										
シラバス年度	2025年度	開講キャンパス		都城キャンパス		開設学科	子ども教育学科			
科目名称	子ども教育専門ゼミⅠ						授業形態	演習		
科目コード	750114	単位数	2単位	配当学年	3	実務経験担当教員		○	Active・L	○
担当教員名	河野 康男								ICT活用	
授業概要	ここでは、算数科の学習内容について、子どもの目線から学びをとらえ直し、「わかる」授業を構築するための教員の数学的リテラシーの育成を目指したゼミとする。そのため、算数科における子どもがもっている考えや思いなどを明らかにしながら、学習する際のつまづきや困難さに目を向け、教えるべき基礎的な概念の意味を子どもが深く理解できるようにするための教授介入はどうあればよいかについて文献をもとに調べ、発表し、討論することをとおして、課題解決能力を高めていく。									
関連する科目	履修後は、子ども教育専門ゼミⅡを受講することが望ましい。									
授業の方法と進め方	文献調査から課題を見つけ、調査したことをもとにディスカッションを重ね、解決方法を検討する。									
第1回	オリエンテーション 本ゼミの内容についての課題の共有									
第2回	問題意識と関心に基づいた文献の選択 文献選択の視点等について									
第3回	報告と討論（１） 子どものつまづきと数学的概念の形成との関係について（１）									
第4回	報告と討論（２） 子どものつまづきと数学的概念の形成との関係について（２）									
第5回	報告と討論（３） 子どものつまづきと数学的概念の形成との関係について（３）									
第6回	報告と討論（４） 子どものつまづきと数学的概念の形成との関係について（４）									
第7回	報告と討論（５） 子どものつまづきと数学的概念の形成との関係について（５）									
第8回	中間まとめ 自己の気づきの振り返り									
第9回	各自の問題関心の確認 自己の気づきの振り返りと変化の確認									
第10回	各自の問題関心に基づいた教材の作成（１） 数学的概念の形成につながる教材の作成のための準備（１）									
第11回	各自の問題関心に基づいた教材の作成（２） 数学的概念の形成につながる教材の作成のための準備（２）									
第12回	各自の問題関心に基づいた教材の作成（３） 数学的概念の形成につながる教材の作成について（１）									
第13回	各自の問題関心に基づいた教材の作成（４） 数学的概念の形成につながる教材の作成について（２）									
第14回	今後の研究に向けて（１） 討論と省察（１）									
第15回	今後の研究に向けて（２） 討論と省察（２）									
授業の達成目標	1 文献や資料を丁寧に調べ、レジュメとして整理し、報告し討論を重ねることにより、質の高い教材を作成するための、教員としての数学リテラシーを身に付ける。【数学リテラシー】 2 二年度までに身に付けた発表や討論の仕方を確実なものにしていく。【問題解決力】									
学位授与方針(DP)との関連	1.知識・理解を応用し活用する能力－(2)／2.汎用的技能を応用し活用する能力－(2)									

授業時間外学習【予習】	問題意識と関心に基づいて調べ、資料をまとめて授業に臨む。
授業時間外学【復習】	自己の学び・考え・リフレクションをレポートにまとめる。
課題に対するフィードバック	討論や文献・情報収集への取り組み、ゼミの発表や教材の作成時に、形勢的評価を行いアドバイスをする。
評価方法・基準	討論や文献・情報収集への取り組み、ゼミの発表や教材の作成、その実践等で総合的に評価する。
テキスト	第1・2回でゼミ参加者全員で輪読文献を話し合いによって決定する。
参考書	必要に応じて、関連文献をその都度紹介する。 小学校学習指導要領（算数編） 小学校教科書(算数) 黒木哲徳著『なっとくする数学記号』講談社『入門算数学』日本評論社
備考	